

## ◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 埼玉環境カウンセラー協会

20A-43

代表者：会長 大熊幸雄

URL : <http://www.saieca.com>

---

### 1. 活動が必要とされた状況

私たちの暮らしを支える様々な化学物質は、取扱いや使用方法を誤ると安全が脅かされる。化学物質による環境汚染や家庭での化学物質製品の使用などについて、安全・安心に向けて、どのようにアプローチしていったらよいのか、専門家から化学物質の基礎的な知識を学び、安全・安心を考える。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

#### ① 第 34 回環境保全講習会

平成 29 年 10 月 29 日、埼玉会館において「化学物質と私たちの暮らし」と題して開催し、25 名が参加した。

セッション 1 基調講演「化学物質の安全・安心、化学物質リスクの基礎知識」

江原 仁 環境省化学物質アドバイザー

セッション 2 ディスカッション話題の提供

1) 「化学物質の安全・安心を考える」下畑 未来 埼玉県環境部大気環境課 化学物質担当

2) 「化学物質による環境汚染問題の安全と安心」大熊 幸雄 当協会会長

3) 「家庭での化学物質」小坂 久仁子 埼玉環境カウンセラー協会会員

セッション 3 パネル・フロアディスカッション（4 名）



#### ② 家にある化学物質の使い方シリーズ 5

平成 29 年 5 月から 30 年 3 月まで、化学物質検討委員会を開催し、企画、構成、内容等を検討し、家にある化学物質の使い方シリーズ 総集編「家にある化学製品・安全使用読本」を完成した。

構成員 中村 章（委員長）、大熊 幸雄、片倉 寛、小坂 久仁子、星野 弘志、堀中 新一

### 3. 活動の成果

豊洲新市場の地下水汚染などを事例に化学物質の環境汚染について安全・安心の考え方を学んだ。新しい情報を知り刺激を受けた、情報の見極めが大切などフロアとの活発な議論が交わされた。

化学物質シリーズ 1-7 号を総集編にまとめ、多様な場面での普及が期待される。

### 4. 今後に残された課題

埼玉環境カウンセラー協会の積み上げてきた活動の実績を広く周知していく。

新たな視点から事業の企画を検討していく。